



TITLE:

献辞 (穂積文雄教授記念號)

AUTHOR(S):

岸本, 英太郎

---

CITATION:

岸本, 英太郎. 献辞 (穂積文雄教授記念號). 經濟論叢 1966, 97(1)

ISSUE DATE:

1966-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133106>

RIGHT:

# 經濟論叢

第九十七卷 第一號

## 穂積文雄教授記念號

---

献 辭 .....	岸 本 英 太 郎	
日露戦争・第1次大戦間の日本経済 .....	堀 江 保 藏	1
社会思想一論 .....	出 口 勇 藏	22
トマス・モア『ユートピア』分析の視角 .....	伊 達 功	39
島の農業について—覚書 .....	野 木 稔 郎	57
歴史における為政者の役割について .....	伊 藤 幸 一	75
王安石新法の貨幣的側面 .....	桑 田 幸 三	92
イギリス労働組合運動における1889年 .....	前 川 嘉 一	110
ロックの道德哲学と教育思想 .....	平 井 俊 彦	127

穂積文雄 教授 略歴・著作目録

---

昭和四十一年一月

京 都 大 學 經 濟 學 會

## 献 辞

穂積文雄教授は、昭和41年3月31日、定年で退官されます。惜別の情にたえません。

先生は、日華事変中の昭和14年6月末、東亜同文書院からわが京都大学経済学部助教授として赴任されました。そしてその中国经济思想史についての深い造詣をもって「東洋経済思想史」の講義を担当されました。このなかから、『支那貨幣考』や『先泰経済思想史論』などのユニークな著作が生まれました。

先生は、昭和20年3月教授に昇任され、戦後は「社会思想史」の講座を担当されて今日に至っております。先生の思想史や文学についての造詣は、「社会思想史」の講義と研究においても遺憾なく発揮されました。その一端は、イギリスのラダイツを生き生きとえがいた『英国産業革命史の一断面』によく示されております。

先生はその深い学殖の反面、性洒脱にして坐談の名手であり、わたしたちは大いに喜ばせて頂きました。

いま先生をわが学部から失うことは、已むを得ないことではありますが、誠に残念であります。ここに本記念号を捧げて、わたしたちの先生にたいする感謝の意を表したく存じます。先生には今後も御健勝にて御研究をおつづけ下さいますようお願い申し上げます。

昭和41年1月

経済学部長 岸本英太郎